

聞き取り調査 記録

調査実施日：平成23年6月12日（日）午前9：30～11：00

訪問先：黒川元一（もとかず）さん宅

黒川元一さん：昭和5年6月生まれ、笹路在住

調査目的・調査結果の活用方法（H23 共通）

自然に感謝し、自然と仲良く暮らしてきた昔の人々の知恵を掘りおこし、未来に向けて語りついでいく活動の一環として、「山内の昔」を知っている方々をこども達とともに訪ねてまわり、主に「水と暮らし」についての聞き取りを行う。

調査で教えてもらった内容は、研究発表の形で、あるいはお芝居の形にして（例えばふれあいコンサートなどで）山内の内外に発表・発信していく。

調査員

こども：5人

大人：3人

記録（とくにまとめず話の順に記録）

調)黒川さんは自分で井戸を掘ったことがあるそうだが？

伊勢湾台風の年、台風の後、全く雨が振らなくなり、12月頃に一人で掘った。

調)伊勢湾台風って？

昭和33年にあった大きな台風で、このあたりでも山のところにある牛蒡池（ごぼういけ）の土手、堤が壊れて、トロッコで修復したものだ。

調)井戸掘りはどうやって？

このあたりでは、まず上から砂地の層、次に礫（れき）岩の層、その下が泥岩の層となっている。砂地は5尺ほど掘ったかと思う。とりあえず掘ってみたら、水が出てきた。

調)井戸の空気抜きって何？

井戸の空気抜きは、使っていた井戸を埋めてしまうときにするもの。昔はどこにでも神様が宿るという考え方で、竈（かまど）、井戸、便所、そういうところに神様がいて考えた。神様がいてと思うから、埋めるときに、空気を通す穴を作ったのだ。

調)井戸の水ってきれいなのですか？

この井戸の水は、湧水ではなく地下水だ。雨水をためたものではないからきれいだ。

井戸の水というのは、使えばまわりから沁み出して湧くもので、たえず使っているとききれいな水を保つことができる。使わず、回転させずにおくと、水が悪くなってしまうものだ。

昔は、訪れた人が「いっぱい水を呼んどくれ(水がほしい)」と言ったりして、その人は井戸の水を、井戸の桶のまま口に運んで飲んだものだ。それで汚いとも別に思わなかった。

前の家(それも黒川何某さん宅)の井戸は深くて5m くらいあったから、冷たくておいしくて、子ども達が水を飲みに行ったものだ。

調)井戸は今も使っている？

外で野菜を洗ったりするのに便利だから使っている。

調)井戸はどうやって使う？

つるべだ(こども達と黒川さんがいっしょに釣瓶を操る所作をして談笑)

昔は「はねつるべ」というものもあった。(黒川さんが図解。シーソーのような形の絵を描いてくださった。支柱は3m くらいあって、先端の重しでバランスをとって使ったらしい。)

調)井戸水を汲むのが昔のこどもの仕事だって聞いたけど？

それは家族にもよる。大人の多いうちならこどもがしなくてもよかったが。

調)黒川さんは何人兄弟？

六人兄弟で、自分は一番上だ。

調)皆、無事成人された？

皆成人したが、自分と一番下の子とは歳がだいぶ離れていて、今60いくつだったか...(昔はどこでも子沢山で、一番上の子と末っ子はだいぶ歳が離れているのが普通だった。)

調)昔の水遊びは？

昔は夏になると川で遊んだ。新制中学(現在の中学校)と違うから(プールは無い。)市場と笹路の間に位置する「七ヶ淵」にもよく遊びに行った。笹路にも(昔)淵はあったし、落合(川が合流するところ)というところやら、いろいろ行った。

ラジオ体操は昔からあって、夏休みは体操の後には、上級生下級生がいっしょに社務所で「夏休みの友」をやった(勉強した)。上級生が先生だ。それから川で泳いだ。水着はパンツ一丁だ。男の子も女の子もいっしょだ。

「飛び込み」もよくやった。二人が一人を持って飛び込ませたり。度胸だめしだ。でも下の子が見ているし(飛び込む)

調)危険なことはなかったか？死んでしまうということとは？

昔は上級生と下級生がいっしょに遊ぶから、だんだんと学んでいった。

昔、一人で出かけた子が川で亡くなってしまったことはあった。昔でも「一人で川に行ったらあかん」とは言われていた。

最近、四国の大きな川に行って、こどもが亡くなってしまったが、(自分は)こどもに自

然体験は必要だと考えている。大人の監視は必要だが、体験させなければいけない。山内の川のような浅い川で、日ごろから自然に慣れていたら、危険も避けられるのではないか。

調)黒川さんは戦争には行かれたのですか？

行った。昭和20年4月、満14歳、今でいう中学三年の年、志願して海軍に入った。昭和20年8月に戦争が終わった。

調)昭和20年というくだいぶ後のほうですが、その時点で日本が負けるとは思ってなかった？

噂では日本も負けてると耳に入ってきていたが、今のように情報は入ってこない。ラジオだけだ。そのラジオもウソを言っている。勝った、勝っているという情報しか流してこない。日本がダメだとは思っていても言えない時代だったし。

調)黒川さんは志願して行った？

召集されて行くのと志願されて行くのがある。自分は志願して、試験を受けて合格して行った。

調)試験って？

学科と身体検査があって、ずるい人だとわざと学科で間違った答を書く人もいたが(普通はまじめに受けた)

調)志願したとき、お父さんお母さんはどんな気持ちだったんでしょうか？

なかなかよい質問だ。自分は父が役場の職員だった。昔は役場の職員が、村の志願者を募ってとりまとめた。自分達の子はいちばん後回しにして。でも皆が行くし、行かなあかんやろうと。

調)戦時中の食事ってどんな感じ？

このあたりは農家だから米はあった。でもたくさんは食べられない。そして肉や魚は入ってこない。(買いに行こうにも)戦争がひどくなると電車の切符もなかなか買えなくなった。召集令状持っている軍人さんは優先的に買えたが。

調)昔のトイレってどんな感じ？

今のように水洗ではなく、(糞尿を)ためて、肥として使った。そのまま使う人もあったが、山にある「野つぼ」と言うところに、(糞尿を)運んで、腐らせてから使った。

調)誰が運んだんですか？

大人が、天秤棒を担いで運んだ。

調)昔の川にはどんな生き物がいた？

昔はもっと魚がいた。「川むつ」は今でもいるが。うなぎ、どんこ(ぬるぬるしたナマズの仲間)、川でも海でも魚は、下(底)の方に住んでいるものがうまい、でもそういう生き物は弱い。今は下の方の生き物がいなくなった。田んぼのどじょうやタニシも、基盤整備をしてからいなくなった。

調)昔は田んぼの水は、自然の水(山からの水)を利用されていたが、水でけんかになったことはなかったか？

けんかになったことはないのではないかと。水が少ない年は「時間水(じかんみず)」とい

うやり方で、時間決めで分け合って使っていたようだが。
ただし、昔の古文書には水争いの記録もあるようだ。